

明治からの贈り物

明治150年記念

経済的な分野のみならず、芸術文化の支援によって日本を支えたとい願った静嘉堂の創始者、岩崎彌之助(1851-1908・三菱第二代社長)と岩崎小彌太(1879-1945・三菱第四代社長)父子のコレクションには、東洋の古典籍・古美術品ばかりでなく、彼らと同時代の、近代の作品も多く収蔵されています。

本展では、そのうちから、明治時代の幅広いジャンルの優品を公開いたします。近代絵画で初めて重要文化財の指定を受けた橋本雅邦「龍虎図屏風」を含む、第4回内国勲業博覧会(明治28(1895)年開催)出品の屏風絵、修理後初公開となる河鍋暁斎の代表作「地獄極楽めぐり図」の画帖、そして当時の洋画界で「裸体画論争」に及んだ、わが国「ヌード」の先駆的作品、黒田清輝「裸体婦人像」など、話題の名品を展示いたします。

また今日「超絶技巧」とも称され人気の高い明治工芸からは、刺繍・金工・七宝・漆芸・陶磁器、それぞれ名工の力作が並びます。

今日に伝えられた明治の美と技の世界を、武蔵野の面影を残す緑ばい静嘉堂100年の杜の中で、どうぞ心ゆくまでお楽しみ下さい。



黒田清輝(くろだせいけい)
「裸体婦人像」
明治34年(1901)

みどころ
「現開東團」の
岩崎家高輪本邸
ビリヤード・ルームに飾られていた
黒田清輝「裸体婦人像」!



岡崎雪聲(おかせせつせい)
「唐朝龍鳳文環耳瓶」
明治時代

みどころ

明治工芸の粋

瀟川・是眞・長吉・雪聲・勝珉
著名な「帝室技芸員」の作品も、
勢揃い!

4



海野勝珉(うんのしょうみん)「燈台(天燈)鬼・鉄鉢鬼・龍燈鬼」
明治33~34年(1900~01)

みどころ

近代日本画で初の「重要文化財」!

「第4回内国勲業博覧会」出品の
橋本雅邦「龍虎図屏風」
(明治28年)
—— 当時は「腰ぬけの虎」と評される? ——

3



重要文化財 橋本雅邦(はしもとがぼう)「龍虎図屏風」(6曲1双) 明治28年(1895) [全期間公開]

みどころ

「画鬼」河鍋暁斎の傑作「地獄極楽めぐり図」を大公開!

2



河鍋暁斎(かわなべきょうさい)「地獄極楽めぐり図」 明治2~5年(1869~72)
(1帖40図)のうち[極楽行きの汽車] (会期中、場面の展示替あり)

イベント情報

詳細はハローダイヤル・HPにて

以下①~⑤、いずれも当日の入館券が必要です。
(中学生以下の方のご参加の場合、保護者同伴でご参加頂けます。)
①②: 午後1時30分から(1時15分開場)地階講堂にて 定員120名
当日開館時より整理券配布(1名様につき1枚)
※整理券の番号順にお入り頂きます。
④⑤: 要事前予約、TEL(03-3700-2250)
またはメール(toiwase@seikado.or.jp)にてお申込みください。
※空きがあれば当日参加も可能です。

①講演会

日時: 7月22日(日)
講師: 藤森照信氏(東京大学名誉教授・東京都江戸東京博物館館長)
「明治の岩崎家の住いについて」

日時: 8月4日(土)
講師: 山内曇之氏(東京大学名誉教授)
「幕末明治とイスラーム — 危機の歴史に学ぶ —」

日時: 8月18日(土)
講師: 野地耕一郎氏(泉屋博物館分館長)
「明治絵画に求められたもの — 一容齋から清輝まで —」

②河野元昭館長のおしゃべりトーク!

日時: 8月26日(日) 「岡倉天心「國華」論 饒舌館長口演す」

③学芸員による列品解説

7月26日(土)、8月9日(土)、8月16日(土) 午後2時~
8月25日(土)、9月1日(土) 午前11時~

④静嘉堂コンサート

日時: 8月11日(祝) 午後2時~3時(予定) 地階講堂にて(自由席100名)
アンサンブル ぼうえきや(三菱商事コーラス同好会有志)
「明治の唱歌・叙情歌やポップスをアカペラで♪」
※「皆さんで唄いましょう!」タイムもあります。

⑤静嘉堂「庭園の花木を観察しようツアー」

案内人: 小岩井農花 足澤匡氏
日時: 7月28日(土)、8月25日(土) 両日とも、午後1時30分(約60分)
定員各15名様程度 ※各自、熱中症対策をお願いします。

特別出品

伊藤若冲原画 動植綵絵「池辺群虫図」より
・模写画、織下絵 《川島織物文化館蔵》
・綴織額 《(公財)日本伝承染織振興会蔵》 ●東京で初公開

岩崎彌之助が設立に深く関わった日本郵船会社(現日本郵船株式会社)は、明治37年(1904)の米國セントルイス万国博覧会に船舶模型や航路図を出品。その出品区に、時の帝室技芸員・二代川島甚兵衛が休憩室「若冲の間」を設け、壁面全体を10点の綴織パネル(原画:伊藤若冲「動植綵絵」)を展示して大きな評判を呼びましたが、会終了後、事故で全て焼失しました。

本展では、技術伝承事業として(公財)日本伝承染織振興会から依頼を受けた(株)川島織物セルコンが再現した綴織額「池辺群虫図」(原画:伊藤若冲 平成22年(2010))と併せて、万博当時に製作された「模写画」、「織下絵」(ともに明治35年(1902)頃 奥田瑞寛)を特別公開します。



「池辺群虫図 綴織額」平成22年

みどころ

「若冲」人気は明治から!? セントルイス万国博覧会(明治37年)出品 綴織作品の制作工程を知る!

5

アクセス

- 東急大井町線/田園都市線(地下鉄半蔵門線直通)「二子玉川」駅下車、駅前④番バス乗場より東急コーチバス「玉31・32系統」で「静嘉堂文庫」下車。徒歩5分。または二子玉川駅からのタクシーで約10分。
- 小田急線「成城学園前」駅下車。南口バス乗場から「二子玉川」駅行きバスで「吉沢」下車。徒歩10分。
- 駐車場が美術館前に約20台分あります。美術館入館のお客様は無料でご利用いただけます。

◆次回展覧会◆

~生誕200年記念~
幕末の北方探検家 松浦武四郎展
会期: 9月24日(月・祝)~12月9日(日)



静嘉堂文庫美術館
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1
☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
http://www.seikado.or.jp

The 150th Anniversary of the Meiji Restoration:
GIFTS FROM THE "MEIJI"



柴田是真 (しばたせしん)
「柳流水青海波塗蒔絵重箱」
明治時代

明治からの 贈り物

明治150年記念



菅原直之助 (すがわらなおのすけ)
「羽衣図刺繍額」(部分)
明治40年(1907)頃



鈴木松年 (すずきしょうねん)
「群仙図屏風」(6曲1双)(部分)
明治28年(1895)



瀧川惣助 (たみかわそうすけ) (渡邊省亭 (わたなべせいてい) 下絵)
「七宝四季花卉図瓶」 一対
明治時代

鈴木長吉 (すずきちやうきち)
「鷹置物」
明治時代後半



重文 橋本雅邦 (はしもとがほう)
「龍虎図屏風」(6曲1双)
のうち「龍図」(部分)
明治28年(1895)



ゴッドフリード・ワグネル
(狩野探令 (かのうたんれい) 下絵)
吾妻焼 (あづまやき)
「釉下彩竹に雀図皿」
明治18年(1885)



加納鉄哉 (かのうてつさい)
「毘沙門天面」
(法隆寺所蔵面模刻)
「追儺面-太郎鬼面」
(法隆寺構内所蔵面模刻)
明治時代



河鍋曉斎 (かわなべきやうさい)
「地獄極楽めぐり図」明治2~5年(1869~72)のうち
【五代目尾上菊五郎の保名(やすな)】(部分)

※作品は一部展示替えがあります。

静嘉堂文庫美術館

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒157-0076 東京都世田谷区岡本 2-23-1

☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) <http://www.seikado.or.jp>

2018年

7月16日[月・祝]~9月2日[日]

[休館日] 毎週月曜日(ただし7月16日は開館)

[サマータイム開館時間] 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

[入館料] 一般1000円、大高生700円(20名以上団体割引)
中学生以下無料